



平成29年7月14日
海上保安庁

明神礁の状況について（7月11日観測）

7月11日午前12時45分から午前12時56分の間、しょう戒中の当庁羽田航空基地所属航空機MA725により、明神礁の状況を確認しました。

・明神礁の状況

明神礁付近の海水面に気泡が多数発生していることを確認しました（位置：北緯31度55.2分、東経：140度01.4分）（図1参照）。

熱画像によると、気泡が確認された場所は周辺に比べて低温*。低温部は長さ約1,000m、幅約100m、低温部の中心点は北緯31度55.3分、東経140度01.4分（図2参照）。

*気泡の発生によって海底付近の低温の海水が湧昇流となっていると考えられる。

海上保安庁では引き続き航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。

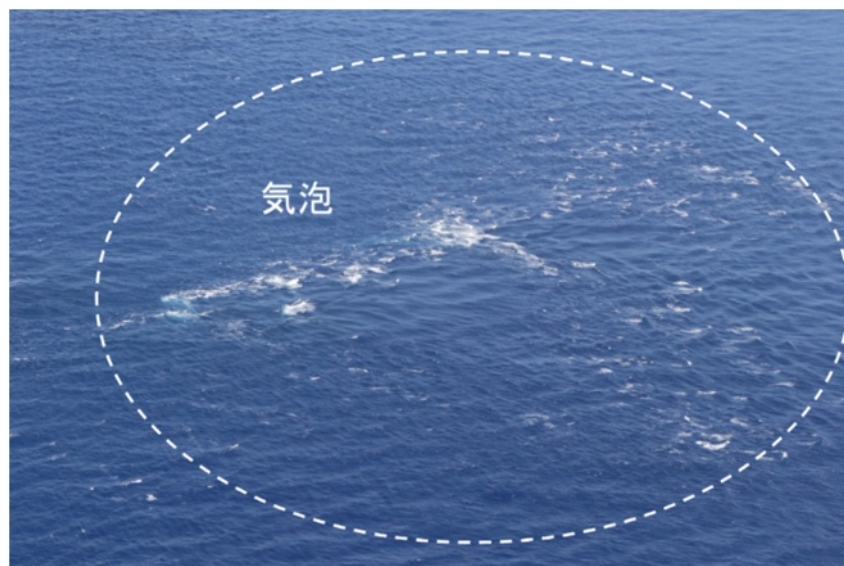


図1 明神礁付近の気泡の様子（7月11日撮影）

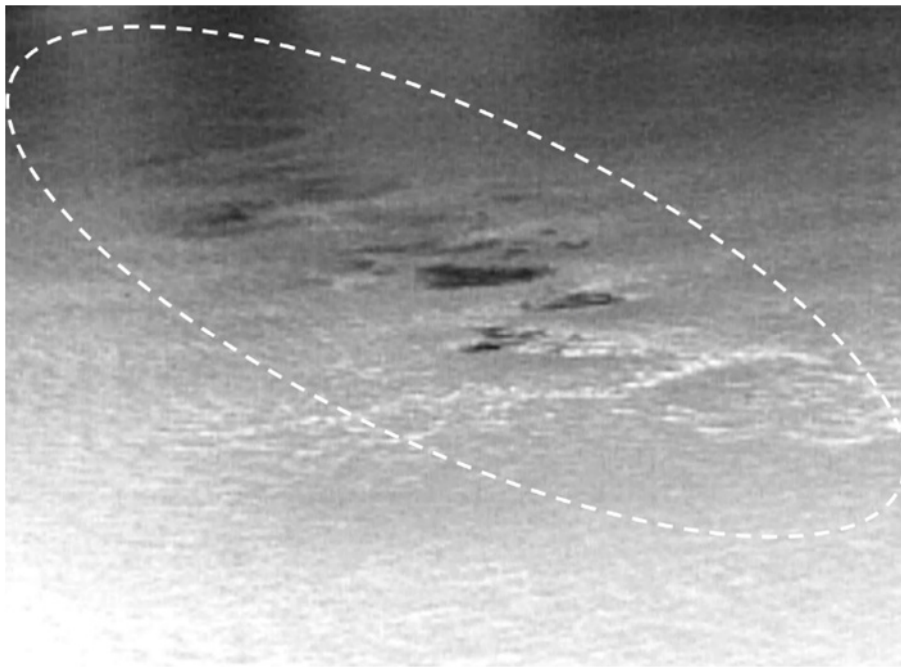


図2 熱画像（黒く見える部分が低温部）（7月11日撮影）

【参考】 明神礁について

- ・東京の南方約400kmにある海底活火山。頂部の水深は約50m。
- ・度々噴火を繰り返しており、昭和27～28年には大噴火した。

